

事業の背景・目的

サクラなどバラ科の樹木を主に食害し、枯死させる「クビアカツヤカミキリ」の生息が、平成29年に河内長野市域で確認され、被害が拡大しつつある。生息域を拡大させないため、様々な主体と連携し、個体の防除と生息域の封じ込めに努めることにより市域のサクラを守るとともに、第5次総合計画等に基づき生物多様性の保全を図る。

事業の内容

初年度（令和2年度）

事業概要 防除実施計画を策定し、計画に基づき様々な取り組みを実施することにより市域におけるクビアカツヤカミキリの生息域の拡大防止を図る。

- ▶事業① 被害状況の調査、防除実施計画の策定
 - ・市域におけるサクラの被害状況調査を実施し、クビアカツヤカミキリの生息域を把握するとともに、防除実施計画を策定し公表した。
- ▶事業② 生息域拡大の防止
 - ・調査結果、及び防除実施計画に基づき、被害木に対する薬剤注入を実施した。
 - ・自治会にチラシ、ポスターを配布し、啓発を実施したところ、被害が確認されている荘園町自治会において自治会主導の防除活動が実施された。
- ▶事業③ 情報発信及び普及啓発
 - ・造園業者等を対象にホームページに掲載した啓発動画、防除実施計画などの案内に努めた。また、資材などをサンプルとして提供することで防除技術の習得を支援した。
 - ・チラシやポスターを作成し、啓発活動を実施した。
 - ・近隣自治体と情報共有に努めた。

2年目（令和3年度）

事業概要 被害状況の調査を行い、前年度の活動の評価をする。また、その結果に基づき、被害木に対して薬剤注入や伐採などの適切な処置を行うことにより、引き続き市域におけるクビアカツヤカミキリの生息域の拡大防止を図る。

- ▶被害状況の調査
 - ・実施した対策の効果検証
- ▶生息域の拡大の防止
 - ・被害木に対する適切な処置
 - ・近隣自治体と連携した広域的な生息域拡大防止策
- ▶情報発信及び普及啓発

得られた成果

- ・被害状況調査に基づき60本のサクラについて薬剤注入を実施した。交付対象事業とは別に、市上下水道部が所管する施設内の被害が確認されたサクラについて農薬処理ができなかったため、施設管理の一貫で伐採を実施しており、これを含めると今年度の被害対策した樹木の数(サクラ)は合計101本になる。
- ・造園業者や自治会、学校等に対し啓発活動を実施でき、結果、自治会主導の防除活動が実施された。